

北信地域障がい福祉自立支援協議会 議事録

部会名 令和7年度 第4回 精神部会

開催日時 令和7年12月11日(木)13:30~15:00

参加者所属機関名等

北信保健福祉事務所健康づくり支援課、北信保健福祉事務所福祉課、中野市福祉課、飯山市保健福祉課、山ノ内町健康福祉課、木島平村民生課、野沢温泉村民生課、栄村民生課、北信総合病院、佐藤病院、りんごの木共同作業所、NPO ここから、飯山市地域活動支援センター、つくしの家、クローバー、未来工房つむぎ、訪問看護ステーションせせらぎ、デイホームこころ、北信圏域障害者生活支援センター、ほくしん圏域就業・生活支援センター、北信圏域障害者総合相談支援センター

本日のテーマ、課題等

- ①開会 ②長期入院者訪問支援事業について ③一般相談支援について（制度・運用を含む）
④事例検討のその後 ⑤今年度の振り返りと来年度に向けて ⑥閉会

会議で話し合われた事

（1）開会

（2）長期入院者訪問支援事業について

事務局より、令和7年度「長野県入院者訪問支援員養成研修」の内容について共有を行った。本事業は、長期入院中の精神障がい者に対し、第三者的立場の訪問支援員が面会・対話を行うことにより、本人の意思表示の支援や地域生活移行に向けた意欲の醸成を図るものである。部会としては、地域移行支援の前段階として「入院中からの関わり」機能である点を共有した。

（3）一般相談支援について（制度・運用を含む）

部会長より、本議題に至る経過説明があった。前回の事例検討において、地域移行後の支援体制の一つとして「一般相談支援」の活用が挙げられたことから、制度理解を深めるため本議題を設定した。

① 制度説明（事務局）

事務局より、一般相談支援制度について説明。

一般相談支援は地域移行支援・地域定着支援を柱とし、入所施設・精神科病院等から地域生活へ移行する支援、及び移行後の定着支援を行う制度であることを確認した。

② 事例共有（未来工房つむぎ 高山相談支援専門員）

一般相談支援（地域移行支援）を活用した事例の共有があった。

- ・長期入院後、グループホーム入居を経て地域生活へ移行
- ・移行前の段階から面会・外出同行を重ねたこと
- ・生活リズム形成、住居確保、関係機関調整を段階的に実施したこと
- ・地域移行支援計画の作成および支給決定の流れ

本人の不安に対し、制度の枠組みを活用しながら「段階的な移行」を実施した点が成果として報告された。

部会内からは、地域移行支援を利用するタイミングの判断、病院との連携の在り方、地域定着支援の継続期間や活用実態 等について意見交換がなされた。

制度は存在するが、圏域内での活用実績は限定的であり、今後の周知・活用促進が課題であることを確認した。

（4）事例検討のその後

次回部会において、当事者とその相談支援専門員による体験共有の機会を設ける方向で調整することとなった。実施可否については、運営委員会および医療機関と調整の上決定する。

(5) 今年度の振り返りと来年度に向けて

グループワーク形式で今年度の振り返りを実施。

主な意見は以下のとおり。

- 事例検討を通じて制度理解が深まった
- 地域移行後の支援の具体像が共有できた
- 医療機関と地域の役割整理が今後の課題

来年度の方向性として、

- 地域移行後の定着支援の強化と予防的支援の視点の導入（相談支援体制の底上げ）
 - ピアサポーターの活用 等
- を柱とすることを確認した。

(6) 閉会